

寒川町防災マップ

平成25年3月作成 寒川町

- 毎月第一日曜日は寒川町家族防災会議の日です!!
 - わが家の防災計画について話し合いましょう!!
 - 災害のために三日分の水と食糧の備蓄をしましょう!!
 - 防災訓練に参加しましょう!!
- (総合防災訓練・防災フェア・自主防災組織による訓練)

広域避難場所

名 称	所在地	電 話	標高(m)
旭 小 学 校	倉見1675-3	75-0359	10.9
旭が丘中学校	小動933	75-5553	12.7
小 谷 小 学 校	小谷4-5-1	75-3671	13.7
寒 川 小 学 校	宮山934	75-0032	18.6
さむかわ中央公園	宮山275	75-1005	9.4
寒 川 中 学 校	一之宮3-9-1	75-0051	7.9
寒 川 東 中 学 校	岡田718	74-0332	7.5
一之宮小学校	一之宮7-3-1	75-0058	6.3
南 小 学 校	一之宮9-9-1	74-7444	7.8
寒 川 高 等 学 校	一之宮9-30-1	74-2312	7.8

一時避難場所

名 称	所在地	電 話	標高(m)
倉見原・才戸公民館	倉見2008-8	-	14.6
倉見地域集会所	倉見1550-2	-	11.8
倉見大村地域集会所	倉見2110-2	-	12.6
北部文化福祉会館	宮山2820-1	74-1515	10.2
旭保育園	宮山2194	75-0773	10.4
宮山地域集会所	宮山3906-2	-	10.6
宮山根岸集会所	宮山1303-1	-	13.0
さむかわ保育園	宮山935	75-0134	17.3
小動地域集会所	小動466-2	-	13.2
小谷地域集会所	小谷1-13-10	-	16.4
大蔵地域集会所	大蔵834-1	-	20.0
菅谷台自治会集会所	岡田7-7-1	-	25.6
岡田もくせいひいき集会所	岡田7-1	-	25.1
鶴岡もくせいひいき第2集会所	岡田7-1	-	25.3
越の山自治会館	岡田8-26-16	-	8.6
東守神社	岡田4-1607	-	14.8
岡田新町集会所	岡田1170-3	-	7.6
岡田地域集会所	岡田609	-	7.2
福祉活動センター	岡田610	-	7.5
大曲地域集会所	大曲2-8-18	-	6.3
中瀬地域集会所	中瀬17-5	-	7.4
筒井地域集会所	筒井25-1	-	7.3
南部文化福祉会館	一之宮8-5-20	75-0281	7.8
一之宮愛児園	一之宮8-3-1	75-0729	7.7
一之宮公園	一之宮3-2172-1	-	7.7
田端地域集会所	田端824	-	6.5

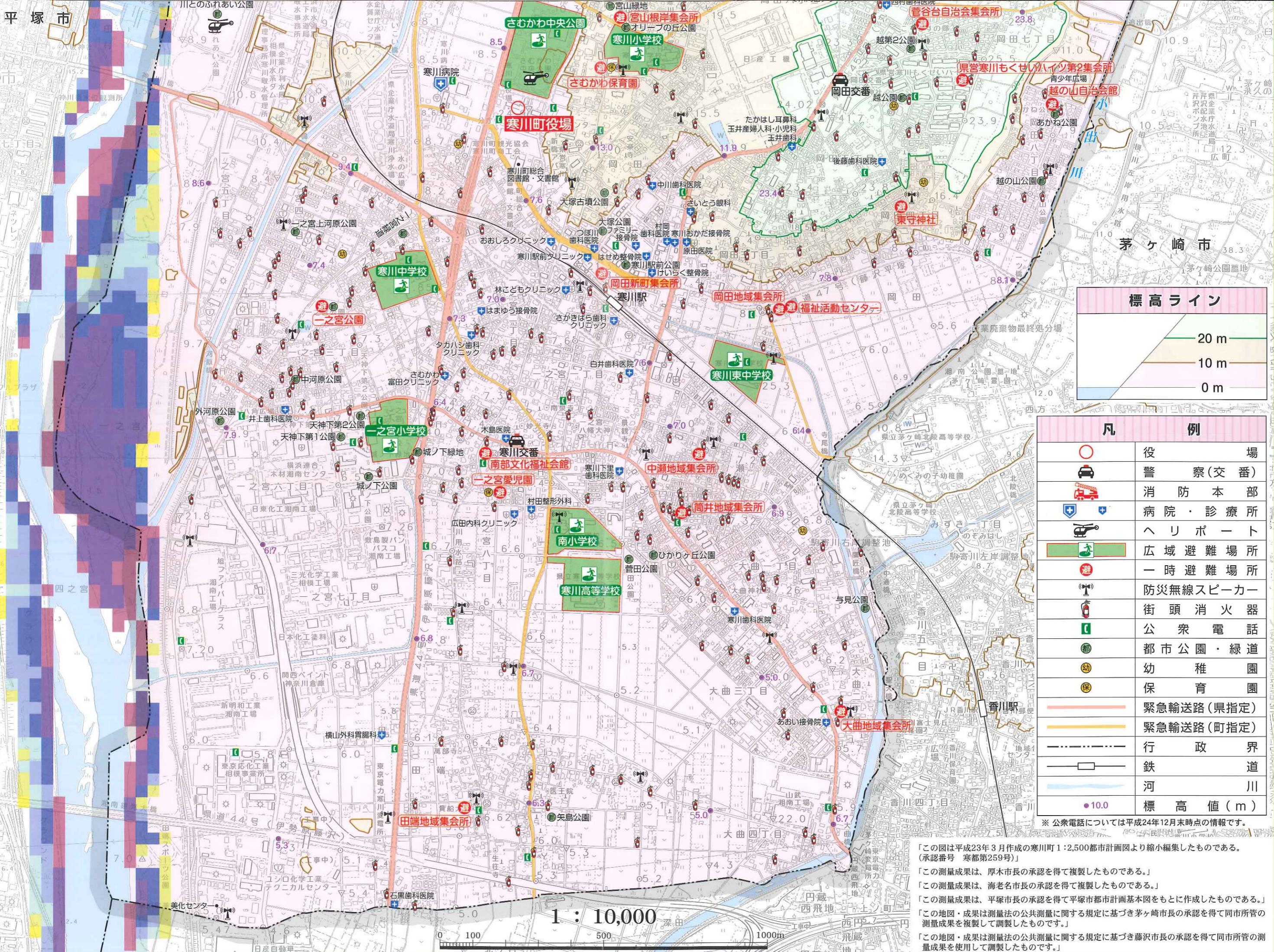
津波浸水深凡例

色	浸水深(m)
■	3.00~4.00m未満
■	2.00~3.00m未満
■	1.20~2.00m未満
■	0.80~1.20m未満
■	0.50~0.80m未満
■	0.15~0.50m未満
■	0.00~0.15m未満

平成24年3月、神奈川県が公表した津波浸水予測図により、寒川町に最大級の津波の影響が考えられる慶長型地震を基に、相模川を津波が遡上した場合に想定される浸水深を表しています。

寒川町消防本部





地震が起きた！その時どうする

大きな地震が発生した時、だれでも驚き、あわててしまいます。しかし、むやみに逃げまわることはかえって、被害を大きくしてしまいます。わが身や家族を守るために、いざというときに冷静に状況を判断して行動しましょう。

家の中にいた場合

まずは身の安全を確保

立っているかもしれない大きな揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠します。座布団などが身近にあれば、頭を保護しましょう。



あわてて外に飛び出さない

外では、ガラスや瓦、看板などが落ちてくることがあります。大地震でも大きな揺れは1分程度です。あわてず状況を判断しましょう。



落ち着いて火の始末

あわてて火を消しに行くと火傷や負傷を負う可能性があるので揺れがおさまってから落ち着いて行動しましょう。ガスは元栓を締め、電気器具はプラグを抜きましょう。



脱出口の確保

揺れで、ドア枠などが変形し、開かなくなってしまうことがあります。玄関や部屋のドア、窓などを開け、いつでも逃げられるようにしておきましょう。



路上や街中にいた場合

窓ガラスや看板などが落ちてくることがあります。ビルなどの建物から離れ、持ち物や両手で頭を守り、近くの公園や広い場所に避難しましょう。



人が大勢いる施設にいた場合

係員の指示に従い、落ちついて行動しましょう。

また、あわてて出口に走り出さないようにしましょう。



エレベーターに乗っていた場合

ただちに各階のボタンをすべて押し、停止した階で降りるようにしましょう。停電などで閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け、非常用電話で救助を求めましょう。



地下街にいた場合

地下街は比較的安全な場所。あわてずに係員等の誘導に従って行動しましょう。

係員等がいなければ壁伝いに歩いて、最も近い出口から地上に出るようになります。



鉄道・バスに乗っていた場合

つり革、手すりなどにしっかりとまりましょう。係員の指示に従い、落ちついて行動しましょう。



自動車を運転中の場合

大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。この時、あわてて急ブレーキをかけないください。ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促し、緩やかに速度を落としましょう。



協力し合って救出活動と応急救護

協力し合って閉じこめられた人などの救出活動や応急救護活動を行いましょう。高齢者、障害者、傷病者の方などに声をかけ、みんなで助け合いましょう。



正しい情報の収集

根拠のないわざ話に惑わされることなく、ラジオやテレビ報道などで正しい情報を収集しましょう。防災行政無線や災害情報に注意を払いましょう。



冷静に避難

揺れが収まり、避難の指示などがあったら、速やかに避難しましょう。避難の指示がなくても、延焼や建物倒壊の危険性を感じた時には、冷静に判断して避難しましょう。



避難の時には

延焼火災の拡大などの危険が切迫した場合、避難の勧告、指示が出された場合、地域又は自主防災組織、自治会単位に防災マップに掲載してある一時避難場所に集合した後、広域避難場所に避難しましょう。冷静に状況判断しながら、安全な避難を心がけてください。

避難の判断基準

避難場所へ移動する判断基準は？

- 町や警察、消防などから避難の指示があったとき。
- 家や建物が倒壊、または倒壊する危険があるとき。
- 近隣で火災が発生し延焼する恐れがあるときなど。

一時(いっとき)避難場所

自治会や町内会の単位で、災害時に広域避難場所へ避難する前に最初に避難し、様子を見たり周囲の状況を確認する場所で、災害時の危険を回避するため一時的に避難する場所です。

広域避難場所

地震などにより火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所で、町では各小中高等学校の敷地内(グラウンド)と寒川中央公園の10カ所を指定しています。

避難所

家が倒壊したり、焼失をした人を収容する目的で、各小中高等学校の体育館などや寒川総合体育館の10カ所を予定しています。

避難するときは

避難の呼びかけに注意



町民のみなさんに危険が迫ったときには、町・警察・消防などから避難の呼びかけがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

電気やガスの元栓を確認



避難で家を出る前には電気のブレーカーを切り、ガスの元栓をしめ、電話の受話器を正しい位置に戻しておきましょう。親戚などに連絡して、避難先を知らせておきましょう。

単独での行動はしない



避難する時はできる限り単独での行動はせず、2人以上の行動を心がけましょう。近所の方々と声をかけ合って避難しましょう。

自動車での避難は控える



自動車での避難は危険をともなうとともに、緊急車両の活動に障害となります。ルールを守る心のゆとりを持ち、冷静に徒歩で避難しましょう。

津波からの避難方法

津波は遠くからもやってくるので、小さな地震でも油断してはいけません！



ラジオ・テレビ・防災情報Eメール等から正確な津波情報を入手しましょう。



高台へ避難

いちばん早く高台に避難しましょう。遠くに逃げることより高い場所に逃げることを心がけてください。

相模川の遡上

寒川町は海から距離があるものの、津波が相模川を遡上すると想定されます。大津波警報等が相模湾沿岸に発令された際は、河川付近から離れてください。

気象庁からの津波注意報や津波警報が解除されるまで、河川に近づかないようにしましょう。

我が家安心メモ

災害時の家族の集合場所	名 前	血液型	電話番号	会社・学校の名称と連絡先
家族・知人などの共通の連絡先				
地域防災拠点(震災時の避難場所)				

災害時の備え

災害時に被害を少なくするためには、「自らの身は、自ら守る」との自助、「皆の地域は、皆で守る」との共助、この考え方がとても大事です。万一に備え、日ごろから一人ひとりが防災意識を高く持ち、災害時の状況判断力を身につけておくことが大切です。

日頃からの備え

家族防災会議を開きましょう



家族の連絡方法を確認しておきましょう。
家族の役割を決めておきましょう。
最終的に落ち合える避難場所を決めましょう。
消火について確認しましょう。

避難所と避難経路の確認



地図上で家族に避難所と避難所までの危険箇所や安全な経路を確認しましょう。
家族やご近所同士で避難経路を実際に歩いてみましょう。

非常持ち出し品の準備



災害に備えて食糧と懐中電灯や携帯ラジオ・予備の電池なども準備しておきましょう。
避難時にはすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

住まいの事前対策



建物やそのまわりにあるもの、家の中の家具やガラスなど地震に対する安全性についてチェックし、補強や配置換えなどを行っておきましょう。屋根瓦やアンテナの補強・補修、雨樋の掃除をしておきましょう。

主な家庭での備蓄～食糧・飲料水は少なくとも3日分の備蓄を～

食糧：簡単に食べられるインスタント食品や缶詰、レトルト食品などの保存食を3日分
飲料水：1人1日3リットル×3日分
トイレパック：凝固剤と袋がセットになった携帯トイレ（1人5個×3日分）

非常持ち出し袋を用意する

□ 水	□ 携帯ラジオ	その他にも
□ 食料	□ 懐中電灯	□ 常備薬
□ 皿・コップ	□ 携帯電話充電器	□ 予備のメガネ
□ 帽子・ヘルメット	□ マッチ・ライター	□ 生理用品
□ 上着・下着類	□ 軍手	□ 紙おむつ
□ 雨具	□ ロープ	□ 粉ミルク
□ トイレパック	□ ピニール袋	□ ほ乳びんなど
□ トイレットペーパー	□ 筆記用具	
□ 洗面用具・タオル	□ 健康保険証の写し	
□ ティッシュ・ウェットティッシュ	□ 身分を証明するもの	
□ マスク	□ 現金	
□ 医薬品	□ 通帳のコピー	



災害時帰宅支援ステーション

コンビニエンスストアやファミリーレストラン、ガソリンスタンド等が災害時の徒歩帰宅者を支援します。支援を受けられる店舗には入口等に共通のステッカーが貼られています。



コンビニエンスストア



神奈川県内ガソリンスタンド



東京都内ガソリンスタンド

※すべてのコンビニエンスストアやガソリンスタンドが該当するわけではありません。

【具体的な支援内容】

- ① 水道水及びトイレの提供
- ② 地図等による道路情報、ラジオ等で知り得る災害情報等の提供
- ③ 一時的な休憩の場の提供

災害時要援護者の支援



高齢者・乳幼児・傷病者・障害者・外国人などの方々は、災害が発生した場合に情報収集や避難行動などで困難な状況に置かれることができます。災害時要援護者の方々が安全に避難するためには、地域のみなさんの協力が必要です。

ふだんからの心がけ…

- 災害時要援護者やその家族の方々は、地域のみなさんとコミュニケーションを保つように心がけ、避難時の援助を依頼しておきましょう。
- 地域のみなさんは、災害時要援護者の方々が遠慮なく援助を依頼できるように、ふだんから働きかけましょう。

正確な情報収集を

自然災害に冷静な対応をするためには、正確な情報収集が大切です。テレビやラジオなど報道機関のほかに、町役場からの呼びかけにも注意して、最新の災害情報・避難情報・気象情報を把握しましょう。早めに行動することを心がけましょう。

寒川町からの情報提供

防災無線テレフォンサービス

防災無線で放送された内容がよく聞こえなかった場合や、放送内容をもう一度確認したい時などに放送と同じ内容が自動音声で確認できます。

☎ 0467-74-0999

緊急災害情報のメール配信

町では、NTTドコモ・ソフトバンク・KDDIが提供する緊急速報メールを利用し、町内のエリアにある携帯電話（スマートフォン）に対して、避難勧告・指示や洪水情報、その他住民の安全に係わる情報などを一斉に配信します。緊急メールが配信されると携帯電話の画面に配信内容を自動表示し、専用の着信音とバイブレーションによりお知らせします。

ホームページの情報

◆ 気象庁の気象情報

[PC] <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

◆ 横浜地方気象台

[PC] <http://www.jma-net.go.jp/yokohama/index.html>

◆ 神奈川県防災・災害情報

[PC] <http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bousai/portal/index.html>

[携帯] <http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bousai/portal/mob/index.html>

◆ かながわ医療情報検索サービス

[PC] <http://www.ryo-kensaku.jp/kanagawa/>

災害に関する情報は、左記の各関係機関のホームページからも収集できます。



携帯QRコード

災害用伝言ダイヤル

震度6弱以上の地震や大きな災害が発生すると、NTTの災害用伝言ダイヤルが稼動します。被災した人の伝言を登録して、家族や友人に安否等の情報を伝達できます。171へダイヤルし、ガイダンスに従って伝言してください。サービスの開始や提供条件はNTTが決定し、テレビやラジオなどで周知されます。

また、携帯電話では災害用伝言板サービスが稼動し、他社携帯やPHS、パソコンなどからも利用できるようになります。

災害用伝言ダイヤル171

伝言の録音：171→1→被災地内の人の電話番号→伝言を入れる
伝言の再生：171→2→被災地内の人の電話番号→伝言を聞く

携帯電話 災害用伝言板 サービス

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
au by KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
ソフトバンクモバイル <http://dengon.softbank.ne.jp/>
イー・モバイル <http://dengon.emnet.ne.jp/>
ウィルコム <http://dengon.willcom-inc.com>

防災関係機関

名 称	所 在 地	TEL	名 称	所 在 地	TEL
寒川町役場	寒川町宮山165	0467-74-1111	茅ヶ崎保健福祉事務所	茅ヶ崎市茅ヶ崎1-8-7	0467-85-1171
寒川町消防本部寒川町消防署	寒川町宮山396	0467-75-8000	NTT 東日本(故障等)	—	0120-444-113
茅ヶ崎警察署	茅ヶ崎市十間坂1-3-25	0467-82-0110	東京電力 神奈川カスタマーセンター(第2)	—	0120-99-5776
寒川病院	寒川町宮山193	0467-75-6680	東京ガス お客様センター	—	0463-22-2616

緊急地震速報の活用

地震の際は、P波(初期微動)と呼ばれる小さな揺れの後、S波(主要動)と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえて地震の規模や震源地を予測し、大きな揺れのS波が来る数秒から数十秒前に発表するものです。大きな揺れが来るわずかな時間を活かし、少しでも地震の被害を減らすことができるものとして開始されました。

緊急地震速報は、気象庁が震度4以上の揺れがあると予測した地域に発表されますが、震源の近くでは、大きな揺れに間に合わないことがあります。また、予測震度でプラスマイナス1程度の誤差があります。

